第24回　日本健康太極拳協会　熊本県支部大会

２００９年4月１９日(日)･熊本市総合体育館にて開催

第２４回　日本健康太極拳協会 熊本県支部大会は、楊　進 理事長と牟田本部理事をお迎えして県内各地より約８００名の参加者とともに熊本市総合体育館大体育室で開催されました。

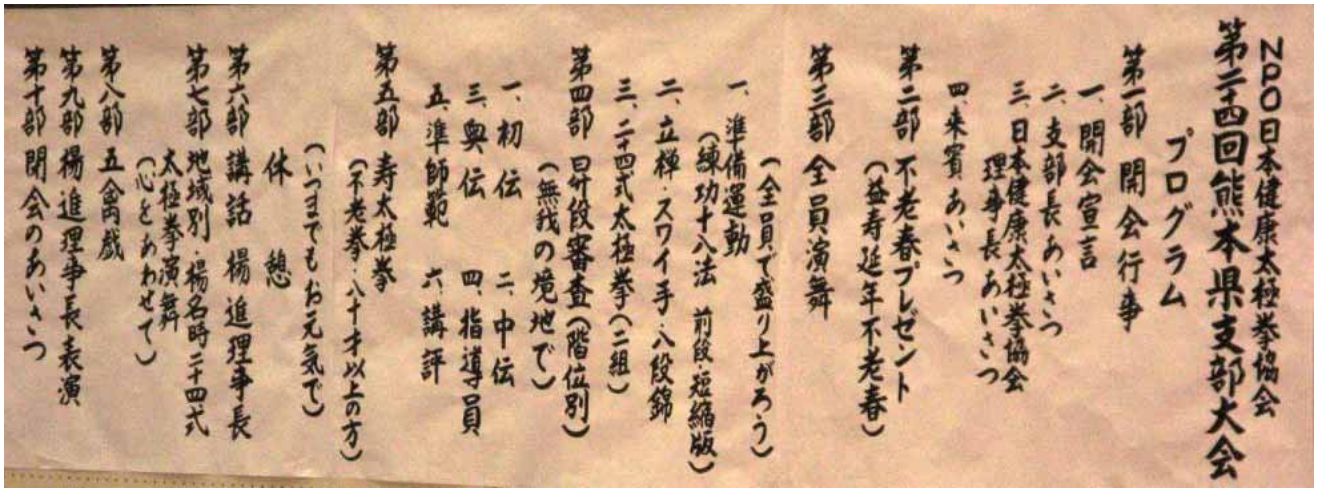
準　備　編

大会を開催するにあたり実行委員会を立上げ、各担当を決定して入念な事前準備を行うとともに、当日も大会スタッフにより手際よく準備を行い、大会を開催することができました。

準備は先ず、正面ステージ作りで専用のシートを敷き、ステージ用の台を十数基ほど、倉庫から出して並べました。その左右にはプログラム掲示用のボードや来賓用の机や椅子および不老春表彰席の椅子などを準備しました。

また、体育館の中央部では整列用のポイント表示、さらに後部では昇段審査等の受付席など多種の作業準備を各委員が協力して予定どおりに遂行して準備が完了しました。

プログラム



NPO日本健康太極拳協会
第二十四回熊本県支部大会
プログラム
第一部　開会行事
一、開会宣言
二、支部長あいさつ
三、日本健康太極拳協会
理事長あいさつ
四、来賓あいさつ
第二部　不老春プレゼント
（益寿延年不老春）
第三部　全員演舞
（全員で盛り上がろう）
一、準備運動
（練功十八法　前段・短縮版）
二、立禅・スワイ手・八段錦
三、二十四式太極拳（二組）
第四部　昇段審査（階位別）
（無我の境地で）
一、初伝　二、中伝
三、奥伝　四、指導員
五、準師範　六、講評
第五部　寿太極拳
（不老拳・八十才以上の方）
（いつまでもお元気で）
休　憩
第六部　講話　楊 進理事長
第七部　地域別・楊名時二十四式太極拳演舞
（心をあわせて）
第八部　五禽戯
第九部　楊進理事長表演
第十部　閉会のあいさつ

第　１　部　：　開会行事

開会挨拶は、牟田副支部長により開会が宣言され、荒木支部長からは、

「みどり滴る良い季節に、こうして県内各地のお仲間と楊先生と共に集えて幸せです。太極拳を通して人生を豊かにし、友を得、健康でいられることに喜び、感謝します。」

と挨拶がありました。

協会本部からは、楊　進　理事長および牟田本部理事からも熊本県支部に対して、丁重なご挨拶をいただくとともに、当会場の吉田館長からもご挨拶をいただきました。

第　２　部　：　不老春プレゼント

恒例となった不老春プレゼント(８０歳以上)の本年の受賞者は、４３名の方々で熊本県支部の層の厚さと元気で太極拳に励んでおられることに勇気づけられました。

また、寺真 法子 様よりお礼の挨拶がありました。

第　３　部　：　全員演舞

練功十八法(前段)と 立禅・スワイ手・八段錦 および２４式太極拳で２４式は２グループに分け、ゆったりと動きました。

第　４　部　：　昇段審査

昇段審査には、初伝：６９名，中伝：５０名，奥伝：３８名，指導員：２９名　及び準師範：８名と多数の受審者がありました。審査は部門別に行われ、楊　進　理事長や牟田本部理事及び県支部支部長・理事と受審者の講師が立ち会いました。

<初伝審査>

<中伝審査>

<奥伝審査>

<指導員審査>

<準師範審査>

教室により、また個人により、速度や手合いが多少異なりながらも、緊張感漂う中、次々と審査は、進められました。会場からも暖かい声援が送られていました。審査終了後、楊　進 理事長より審査結果の発表と講評がおこなわれました。

第　5　部　：　寿太極拳

不老春表彰を受けられた方々により、不老拳の演舞がありました。
体重を支え移動することの出来る筋力だけで動き、無駄な力のない太極拳は、あたりの空気をゆったりとさせ、見るものに感動を与えました。

第　6　部　：　講　　話

今回も　楊　進　理事長からの貴重な講話を聞かせていただきました。毎回、楽しみにして待っていました。

「太極拳は、身体の中から動く、まず意をもって行う。意識、意念があり、脳に伝えそれに従って身体が動く。行為は意に従う。
太極拳を正しく動くためには、意が正しく作動しなければならない。
そのために、『天天学習』」

第　７　部　：　地域別表演

今回、新たに地域別(北部・中央・南部)による楊名時２４式太極拳の演舞がありました。

第　８　部　：　五　禽　戯

荒木支部長のリードで五禽戯を全員で演舞しました。その際、２階席で観覧されていた方達も演舞されており、親しみのある種目でした。

第　９　部　：　楊　進　理事長表演

再び、楊　進　理事長に登場ねがい、演舞していただきました。
毎回、華麗な身のこなしと迫力に引き込まれてしまいました。

第　10　部　：　閉会のあいさつ

永田理事の言葉で疲れも飛ぶ、シャキットした閉会になりました。
「２０世紀は、戦争と平和の世紀でした。２１世紀は、平和の維持と環境が課題とされています。私たちは、その時代にいます。
皆さん！　気迫を持って生きて行きましょう。
来年は２５周年、更なるご協力をお願いして閉会の言葉とします。」
参加者の皆様、役員・実行委員の皆様お疲れさまでした。